

くらし、福祉の充実と安全安心の街を

一般会計は38億円黒字、財政調整基金51.7億円 財源は充分にあります

「気候危機打開への対策 求める意見書」を採択

9月20日、9月定例市議会が閉会しました。市長提出議案31件はすべて可決成立しました。日本共産党市議団は、市立医療センターに紹介状なしで受診すると7700円徴収する手数料条例の改定、一般会計・特別会計決算など7件に反対しました。

住宅リフォーム助成 1000万円の補正

令和4年度一般会計決算は、38億円の黒字と51・7億円の財政調整基金など、くらし福祉充実の財源は十分あります。

物価高騰が市民のくらしと営業を直撃する中、負担軽減とくらし応援の施策充実を求めました。

令和5年度の補正予算では「住宅リフォーム助成」予算が1000万円計上され、市の制度として継続実施していくことが明らかになりました。

自転車ヘルメット補助 12対15で不採択に

市民からの請願4件のうち「一ノ割駅西口改札」を求める請願は全会

一致で採択されましたが、他の3件は不採択で、「自転車ヘルメット購入の補助を求める請願」は、日本共産党、公明党、立憲民主党、日本維

請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願	党市議団提出の意見書				
		自転車用ヘルメット購入補助	保険証廃止の撤回	介護保険改悪中止	インボイス中止	原発汚染水海洋放出中止
○ 賛成 × 反対						
日本共産党 (4)	○	○	○	○	○	○
自民・無所属の会 (8)	×	×	×	×	×	○
次世代かすかべ! (6)	×	×	×	×	×	×
公明党 (6)	○	×	×	×	×	○
立憲民主党 (1)	○	○	○	○	×	○
日本維新の会 (1)	○	×	○	×	×	○
無所属	(榛野)	×	×	×	×	×
	(酒谷)	×	×	×	×	○
	(古沢)	○	○	×	○	○
結果	×	×	×	×	×	○

新の会、無所属議員一名が賛成しましたが、保守会派の反対で、賛成12反対15の僅差で不採択でした。

日本共産党市議団は、議員提出議案で国に対する5本の意見書提出を提案しました。(左表)

このうち「気候危機打開へ有効な対策を求める意見書」(2030年までにCO2排出量50〜60%削減、脱炭素化のインフラ整備など)が採択されました。

日本共産党市議団の一般質問



大野とし子

東中野568-1

TEL 090-7843-4945



並木としえ

大場374-1

TEL 090-3916-0168

地元農産物を生かし、庄和地域も自校給食に

現在、子どもたちにおいしい給食をと地元農産物を給食に取り入れる取り組みが広がっています。おいしい給食を食べることは子どもたちにとって心も身体も豊かに育てる食育であり、地元農産物を生かし地産地消に取り組む中で地元農家も応援しようという取り組みです。

春日部市も学校給食課が中心となって、地元農家と契約をして、給食に地元食材を取り入れる取り組みが始まりました。

庄和地域は野菜の産地です。私は、この取り組みを広げ、庄和地域も自校給食にすることを求めました。春日部地域は自校給食で、30分前に作るお味噌汁は食材の香りが出ました。給食センターもおいしい給食を届けられるようにと努力はしていますが、1時間半前に作った給食では食材の香りは届きません。

市長に、合併して18年。庄和地域の野菜を使って食材の香りがする給食が食べられるように、春日部市が誇る自校給食を庄和地域にも広げるべきと求めましたが、市長は「自校給食とセンター給食それぞれの良さを生かしながらおいしい給食を安定的に供給していきたい。」といつもの答弁を繰り返すに留まりました。引き続き取り組みます。

- 庄和高齢者憩いの家を庄和保健センター跡地に
- 豪雨災害から市民の命財産を守れ

学校は学ぶよろこびと豊かな学力をはぐくむ場に

今年度から、中学2年生全員に受験産業大手ベネッセのスコア型テスト「GTEC」が実施されます。

全国一斉学力テストの結果、中学生の英語の学力に課題があり、教員も授業力の向上に悩んでいることから、テストと事前・事後の研修がパッケージになった「GTEC」導入を決めたとのこと。県内ではさいたま市、川口市などで実施。さいたま市は全国の政令市で英語の学力テストはトップ、という答弁がありました。

「学力テストは「学力の一部」であり、その結果だけで学力をはかるべきではない。新たなテスト導入で子どもや教師にストレスを与えるのではなく、学ぶよろこびと豊かな学力をはぐくむことが学校の責務」と主張しました。

- 「市民が主人公」—魅力と活気ある春日部へ 市民参加・市民協働の仕組みづくりを



木下みえ子

一ノ割1270-11

TEL 050-3559-1640



今尾やすのり

内牧5033-1

グリーンパーク春日部1-111

TEL 090-1032-4833

市民の多様なニーズに寄り添った第4次春バス運行計画策定を

第4次春バス運行計画案は9月19日に市民意見募集が終了し、26日の地域公共交通活性化協議会において策定される予定です。再編のポイントは課題だった利用者数の少ない路線区間を見直し、運行の所要時間を短縮、便数を増加させ、コンパクトシティ形成のため鉄道駅を結ぶルートを設定しました。利用者数の少なかった庄和地域の一部・赤沼・不動院野・内牧の各ルートが廃止されます。

令和6年1月から庄和地域の空白地域で行われる75歳以上の高齢者と妊産婦へのタクシー代補助制度の実証実験について、市内の全域で行われない理由について、都市整備部長は、「全市でおこなうには既存の公共交通への影響が懸念されることから、今回の結果を踏まえ施策の検討を行いたい。」と答弁しました。

また、アンケート回答の三千人のうち回答率は35.4%。春バスをよく利用している人はその内の1%であり、地域のニーズを拾い上げるにはサンプル数が少ない、施策を決定するにあたって主役は市民であり過程においても市民参加が必要と求めました。

都市整備部長は、「協議会には学識経験者や市内の各種団体の代表、公募による市民2名も参加し、住民の立場からの意見もいただいている。現在おこなっている市民意見を参考に計画の策定をおこなっていききたい。」と答弁しました。

- 学校・公共施設のトイレの個室に無料の生理用品を

子どもにとって最善の学童保育を

現在学童保育は、来年度から新しい指定管理者の公募を行っています。市内3ブロックに分けての応募に6者が応えています。

今尾議員は、「一部でも直営で実施し、ノウハウの蓄積を行なうべき」と質しました。

岩谷市長は、「本市における指定管理者制度も軌道に乗り、その効果も十分現れてきておりますので、今後においても、引き続き指定管理者制度を活用し、放課後児童クラブの充実に努めてまいります」と答えました。

今尾議員は、「市の職員は宝です。職員が現場のことを知っていく。利用者と直接関わり、市職員の中で専門職を、そこに特化した人を育てていくことが、市民・子どもたちに対して一番いいサービスの提供が出来ます。草加市でも一部を直営で行なっています。現場での実践で培われる経験の蓄積こそが宝です。本市でも一部でも直営で行なっていくべきです」と強く主張しました。

- 内牧公園の駐車場増設を